

# 畜産もがみ

第  
50  
号

● 発行 ●

最上地域農業・畜産振興協議会  
住所：新庄市金沢字大道上 2034  
(最上総合支庁農業振興課内)  
TEL 0233-29-1318  
令和7年3月31日発行



## 金山町生まれの期待の県産種雄牛「丸藤3」

～生粋の「総称山形牛」の生産によるさらなるブランド力向上を目指して～

### も く じ

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| ◆令和6年度最上地域畜産関係共励会表彰式・・・1     | ◆子実用トウモロコシの新たな取組みについて・・・5    |
| ◆最上地域の肥育牛生産者が優秀な成績を収めました・・・2 | ◆家畜の健康を守るために！病原体侵入対策の重要性・・・6 |
| ◆令和6年度畜産担い手セミナー・・・3          | ◆令和6年度最上管内の病類別死廃事故状況・・・7     |
| ◆県産種雄牛「丸藤3」号！・・・4            | ◆家畜改良増殖法の遵守の徹底について・・・8       |
| ◆養豚・肉用家さんの首都圏でのPR活動について・・・5  | ◆令和6年最上子牛市場取引状況・・・9          |

# 令和 6 年度畜産関係共励会表彰式

令和 7 年 2 月 18 日(火)に、山形県農業研究センター畜産研究所大会議室において、令和 6 年度最上地域畜産関係共励会表彰式を開催しました。管内関係者の御臨席の下、各共励会の入賞者に賞状(最上地域農業・畜産振興協議会長賞等)及び副賞を贈呈しました。



受賞者の皆様

## ○肉用子牛出荷共励会

令和 6 年 1 月から 12 月の期間中に、山形最上家畜市場に 3 頭以上出荷した生産者の和牛子牛のデータのうち、①出荷時の日齢当たり体重、②同日齢当たり価格、③同日齢、④母牛の分娩間隔(初産牛は初産日齢)の 4 項目について審査しました(受賞者は右表)。

令和 6 年の全体の成績(平均)は、①日齢当たり体重は 1.12 kg、②日齢当たり価格 1,743 円、③出荷日齢は 283 日、④分娩間隔は 404 日でした。特に、分娩間隔は 13 日の短縮で大きく改善しま

肉用子牛出荷共励会入賞者(敬称略)				
区分	賞席	氏名	市町村	所属農協
第 1 部 (10 頭以上)	第 1 位	山科 三夫	新庄市	もがみ中央
	第 2 位	高山 正靖	新庄市	もがみ中央
	第 3 位	高山 賢也	大蔵村	もがみ中央
第 2 部 (6~9 頭)	第 1 位	佐藤 晋	真室川町	もがみ中央
	第 2 位	梁瀬 晃	真室川町	もがみ中央
	第 3 位	渡辺 弘美	新庄市	もがみ中央
第 3 部 (3~5 頭)	第 1 位	菅 肇	最上町	もがみ中央
	第 2 位	笹原 一徳	金山町	金山
	第 3 位	大場 啓一	最上町	もがみ中央

した。分娩間隔の短縮は飼料や種付け等の経費の低減に直結することなので、今後とも、発情確認等の個体観察を徹底し繁殖性の向上に努めるようお願いします。

## ○牛枝肉共励会

令和 6 年 6 月 17 日(月)開催の「第 6 回 JA 総称山形牛枝肉共進会」に出品された枝肉のうち、最上地域の生産者から出品されたものを対象として審査しました(受賞者右表)。

令和 6 年は、去勢 6 頭、雌 13 頭の計 19 頭の出品のうち、枝肉等級は A5 が 15 頭、A4 が 2 頭、A3 が 1 頭、B4 が 1 頭の結果でした。牛脂肪交雑基準(B.M.S)の平均は 9.8 で、うち No.12 が 6 頭、No.11 が 3 頭、No.10 が 3 頭と半数を占め、また枝肉重量の平均は 525 kg で、中には 627 kg の個体もあるなど、肉質肉量ともレベルの高いものとなりました。

昨年に引き続き、飼料や燃料価格の高騰が止まらず経営的に厳しい状態が続いておりますが、飼養管理技術の研鑽等により所得の向上を図るとともに、高品質な「総称山形牛」を消費者に届けていただきたいと思います。

牛枝肉共励会入賞者(敬称略)		
賞席	氏名	市町村
最優秀賞	(株)菅嶋牧場	最上町
優秀賞	伊藤 英悦	新庄市
優良賞	(有)山口畜産	最上町

○乳質改善共励会

毎月上旬と下旬に行われている乳質検査のうち、令和6年6月～9月までの計8回のデータを抽出し、①細菌数、②体細胞数、③無脂固形分率、④乳脂肪率の4項目を解析のうえ審査しました(受賞者は右表)。

全体の成績(平均)は、細菌数が21千個/ml、体細胞数が19.8万個/ml、無脂固形分率が8.73%、乳脂肪率3.95%と全体的に良好な数値でした(令和5年から乳脂肪率以外の項目は向上)。

令和6年は前年の猛暑に比べ、平均気温が低かったことも考えられますが、日ごろからのきめ細やかな飼養管理や丁寧な搾乳作業等の結果が表れたと思われます。今後とも日々の衛生管理の徹底と高品質な生乳の生産をお願いします。

乳質改善共励会入賞者(敬称略)				
区分	賞席	氏名	市町村	所属農協
第1部 (20頭以上)	第1位	保角 義文	新庄市	もがみ中央
	第2位	平賀 弘	舟形町	もがみ中央
	第3位	土田 賢司	真室川町	もがみ中央
第2部 (20頭未満)	第1位	石塚 勝也	新庄市	もがみ中央
	第2位	白畑 義彦	新庄市	もがみ中央
	第3位	鈴木 藤雄	新庄市	もがみ中央

最上地域の肥育牛生産者が優秀な成績を収めました  
～第32回山形県内産牛枝肉共進会・第47回山形県牛枝肉共進会～

令和6年9月17日(火)に「第32回山形県内産牛枝肉共進会」が、令和6年11月18日(月)に「第47回山形県牛枝肉共進会」が株式会社山形県食肉公社で開催されました(主催:山形肉牛協会)。

最上地域の肥育牛生産者が上位入賞され、最上地域における和牛の肥育技術の高さが改めて証明されました(表)。

なお、「第32回山形県内産牛枝肉共進会」では、出品牛全頭のおいしさの特長の「見える化」として、その目安の一つである MUFA 割合※をグラフ化し試験的に提示しました。

県としては「総称山形牛」のブランド力向上に向け各種取組みを実施していきますので、生産者の皆さんにおかれては、引き続き適正な飼養管理をお願いします。

※MUFA 割合:オレイン酸を含む、MUFA(一価不飽和脂肪酸)が多い脂肪は低い温度で溶けるため、口当たりが良い(口溶けが良い)とされている。

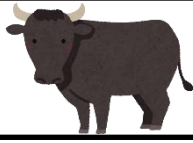


第32回山形県内産牛枝肉共進会  
優秀賞1席

表 各共進会入賞者

第32回山形県内産牛枝肉共進会	第47回山形県牛枝肉共進会
<優秀賞1席> 伊藤英悦(新庄市) <優良賞> 加藤優志(金山町)	<優秀賞1席> 有限会社山口畜産(最上町) <優秀賞3席> 株式会社マロンバレーENTA (真室川町)





## 令和6年度畜産担い手セミナー



管内畜産農家の飼養管理技術向上のため、「畜産担い手セミナー」を開催しました。肉用牛はリモート形式（山形県人工授精師協会・受精卵移植研究会との共催「山形★牛の生産性向上繁殖セミナー」）で、乳用牛はバーンミーティング形式（県との共催「乳用牛ベストパフォーマンス実現セミナー」）で実施し、それぞれの部門で活発な意見交換や質疑応答が行われました！

### 🐄肉用牛部門🐄【令和6年11月26日】

#### （1）講演

講演：黒毛和種の分娩管理及び受精卵の効率的生産と受胎率向上について

講師：酪農学園大学農食環境学群循環農学類家畜繁殖学 堂地 修 教授

概要：受精卵移植の受胎率を決定する主な要因は、「受精卵の品質」、「受卵牛のコンディション」、「技術レベル」である。受胎しそうな受精卵や受卵牛を見つけるよりも、絶対に受胎しない受精卵や受卵牛を見つけること、受卵牛の飼養管理、移植者がミスをしなことが重要。



会場の様子

#### （2）情報提供

情報提供：県の牛の改良事業にかかる取組み

情報提供者：農業総合研究センター畜産研究所 渡部 真理安 開発研究専門員

概要：OPU（生体内卵子吸引技術）を活用した体外受精卵の最新情報

#### （3）パネルディスカッション

パネラー（酪農家2名、肉用牛農家1名、獣医師1名）と堂地教授の間で、移植の際の肉用牛と乳用牛の技術面の違い、受胎率、分娩誘起法等について、様々な質疑応答が繰り広げられ、濃密なパネルディスカッションとなりました。

### 🐄酪農部門🐄【令和6年12月3日】

#### （1）講演

講演①：ゲノミック評価を活用した乳用牛改良と種雄牛選びについて

講師：農業総合研究センター畜産研究所 大類 日央里 研究員

講演②：分娩前後の飼養管理について

講師：農業総合研究センター畜産研究所 鈴木 和仁 開発研究専門員

大類研究員からは、ゲノミック評価による実能力の予測や県内での牛群改良等への活用事例について、鈴木専門員からは、飼養管理上の重要なポイント（1.牛を良く観察する。2.三大行動である、「食う・飲む・寝る」を妨げない。3.こまめな粗飼料分析と飼料設計の確認を行うこと等）について、実際に牛を見ながら説明がありました。



現地の様子

#### （2）情報交換

酪農家を中心にお互いの飼養管理の情報交換や活発な質疑応答が行われました。

# 新たな県産種雄牛「丸藤3」号！

山形県農業総合研究センター畜産研究所

山形県では、和牛の改良と「総称山形牛」のブランド力向上のため、優れた県産種雄牛の作出に取り組んでいます。現在、当所には、気高系の「幸紀陸」「美結喜」、但馬系の「福福照」「美勝喜」「福秀165」が繋養されていますが、このたび、藤良系の種雄牛として、新たに「丸藤3」が加わりましたので紹介します。

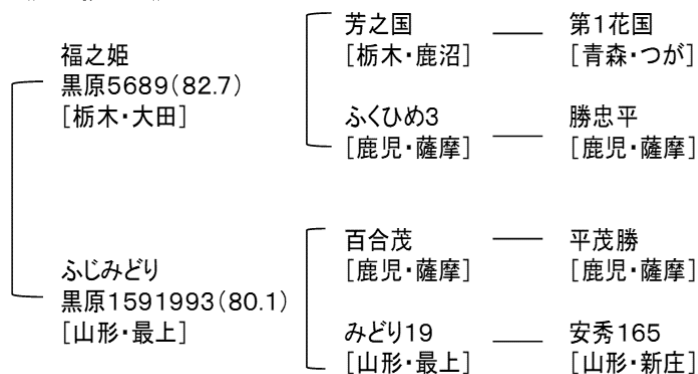


県産種雄牛「丸藤3」号

「丸藤3」は、令和元年6月に金山町で生まれました。父は全国的に産肉能力が高い藤良系種雄牛「福之姫」です。母は県内でも評価の高い「ふじみどり」、母の父は「百合茂」です。また、3代祖が県産種雄牛の「安秀165」である血統的特長を持っています。

「丸藤3」産子の枝肉成績は、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、歩留基準値及び上物率（4等級以上の割合）が県歴代1位となりました。また、脂肪交雑及び牛肉のおいしさに関係する一価不飽和脂肪酸（MUFA）についても優れた遺伝的能力を有しており、まさに質量兼備な種雄牛となっています。現在、「丸藤3」の人工授精用凍結精液はたくさん注文をいただいております。増産中です。多くの繁殖農家・一貫農家の皆様から利用していただくことで、山形生まれ山形育ちの「総称山形牛」の生産拡大につながることを期待しています。

### 《血統図》



丸藤3産子のロースの状況（BMS. No12）

表 丸藤3産子の枝肉成績（13頭 去勢9頭 雌4頭）

出荷 月齢 (月)	枝肉 重量 (kg)	ロース芯 面積 (cm <sup>2</sup> )	バラ厚 (cm)	皮下 脂肪厚 (cm)	歩留 基準値 (%)	BMS No.	肉質等級 4・5 割合	MUFA ランク※
30.4 ±1.4	552 ±62	80.5 ±13.0	9.6 ±1.1	2.7 ±0.9	77.0 ±2.1	10.0 ±1.8	100%	H

平均値±標準偏差

※)脂肪酸育種価(令和6年7月評価)

## 養豚・肉用家さんの首都圏でのPR活動について

最上総合支庁産業経済部農業振興課

最上地域の畜産物（豚肉、鶏肉、鴨肉）の認知度向上、消費拡大を図ることを目的に、令和6年10月24日のテレビ埼玉の夕方情報番組「マチコミ」内での「おいしい山形コーナー」枠においてPR活動を行いました。

最上地域の特徴を説明した後に、最上地域で生産している三銘柄豚（「認定山形豚」、「米の娘ぶた」、「戸澤豚一番育ち」）、肉用鶏の「やまがた最上どり」、肉用鴨の「最上鴨」の品種や飼養の特徴、職員が食べて感じた味わいなどを中心に紹介しました。

各銘柄肉を番組内の視聴者プレゼントとしたところ、約12,000件もの応募があり、首都圏の多くの方から、最上地域の畜産物に興味を持っていただくことができました。

今後も、各種活動によって、最上地域の畜産振興を図っていきますので、生産者の皆さんにおかれては、引き続き適正な飼養管理をお願いします！



テレビ埼玉「マチコミ」出演者

## 子実用トウモロコシの新たな取組について

最上総合支庁産業経済部農業振興課

円安や国際情勢の影響によりトウモロコシなどの輸入原料が高騰し、配合飼料価格が高止まりしています。このような中、以前より真室川町内において子実用トウモロコシ<sup>※</sup>の生産がされていましたが、令和6年度からは舟形町内でも新たに生産に取り組みられました（表1）。

県では、令和5年度より飼料コストの低減等に向けた子実用トウモロコシの生産・利用の支援として2つの事業（表2）を実施しています（令和7年度も一部内容を改正して実施）。

※子実用トウモロコシ：穀実（子実）のみを収穫・利用する目的で栽培されたトウモロコシ

表1 最上管内の子実用トウモロコシの生産・利用状況

真室川町の取組事例		舟形町の取組事例（新たな取組）	
<p><b>耕種農家</b> (法人)</p> <p>〈出荷形態〉 乾燥</p> <p>〈出荷形態〉 原物</p>		<p><b>耕種農家</b> (個人)</p> <p>〈出荷形態〉 乾燥</p> <p>〈出荷形態〉 原物</p>	
<p><b>天童市</b> 畜産農家（肉用牛）</p> <p>〈利用方法〉 圧べん加工し給与</p>	<p><b>真室川町</b> 畜産農家（肉用牛）</p> <p>〈利用方法〉 SGSに加工し給与</p>	<p><b>鮭川村</b> 畜産農家（肉用鶏）</p> <p>〈利用方法〉 飼料に配合し給与</p>	<p><b>舟形町</b> 畜産農家（乳・肉用牛）</p> <p>〈利用方法〉 SGSに加工し給与</p>

表2 山形県及び公益社団法人山形県畜産協会の子実用トウモロコシの支援事業

子実用トウモロコシの作付け支援 (山形県)	子実用トウモロコシの収穫支援 (山形県・公益社団法人山形県畜産協会)
<p>【事業概要】 作付けに係る経費の一部を支援</p> <p>【補助単価】 13,000円/10a（初年度） 8,500円/10a（2年目）</p>	<p>【事業概要】 収穫用機械の貸付</p> <p>【事業内容】 利用条件：「山形県産子実用トウモロコシ生産利用推進協議会」の構成員 利用料：無料（燃料、移動経費、洗浄経費は利用者負担）</p>



子実用トウモロコシ



# 家畜の健康を守るために！病原体侵入対策の重要性

最上総合支庁産業経済部家畜保健衛生課

ウイルス、細菌、寄生虫等の病原体は、家畜の健康を脅かし、経済的損失を引き起こす可能性があります。今回は、病原体侵入を防ぐための基本的な対策をご紹介します。

## 1. 侵入経路の理解

病原体は以下のような経路で農場に侵入する可能性があります。

- 人：訪問者や作業員の衣服や手から
- 動物：新たに導入する家畜や野生動物から
- 車両や器具：外部から持ち込まれる農機具やトラック
- 飼料や水：汚染された飼料や水源から

## 2. 具体的対策

### 【専用の作業服・長靴等を使用】

専用の作業服・長靴を準備・着用し、農場内外で衣服を使い分けま  
す。獣医師や頻繁に出入りする関係者に対して専用の長靴を準備する  
ことも効果的です。



水洗い槽+消毒槽

### 【手指の消毒】

畜舎に入る前に手を洗い、消毒を行うか、専用の手袋を使用します。

### 【踏込消毒槽の設置】

畜舎入口に消毒槽を設置し、出入りする際に長靴を消毒します。消毒液の中に糞便等の有機物が入ると、消毒効果が弱くなるので、液が汚れたら速やかに交換します。また、汚れていなくても消毒効果は弱くなっていくので、できる限り頻繁に交換しましょう。

### 【野生動物対策】

野生動物が畜舎内に侵入しないように、畜舎入口や窓等の開口部に防鳥ネットを設置します。さらに、畜舎周囲の草刈り、不要物撤去により野生動物が身を隠す場所をなくすようにします。



防鳥ネット、除草

### 【導入家畜の隔離】

専用の隔離畜舎を持っている農場は限られていますが、他の家畜と接触しないよう独房で管理する、導入家畜の隣に空房を設けて繋留する等、既存の施設でできるところから取組んでみましょう。

### 【農場の衛生管理区域に出入りする車両の消毒】

入退場時に、動力噴霧機等を用いて車両全体を消毒します。フロアマット等、車内でヒトが踏んだり触れたりする部分もアルコールスプレーなどを用いて消毒しましょう。



車両消毒



車内消毒

### 【安全な飼料と水の確保】

給餌施設や給水施設、飼料保管場所に野生動物が侵入しないようにしましょう。また、飼槽やウォーターカップはこまめに清掃して、清潔に保ちましょう。

## 3. まとめ

畜産農場への病原体侵入対策は、家畜の健康と農場経営の安定に直結しています。日々の作業の中で、これらの対策を実践・徹底し、安全な畜産物の生産に努めましょう！

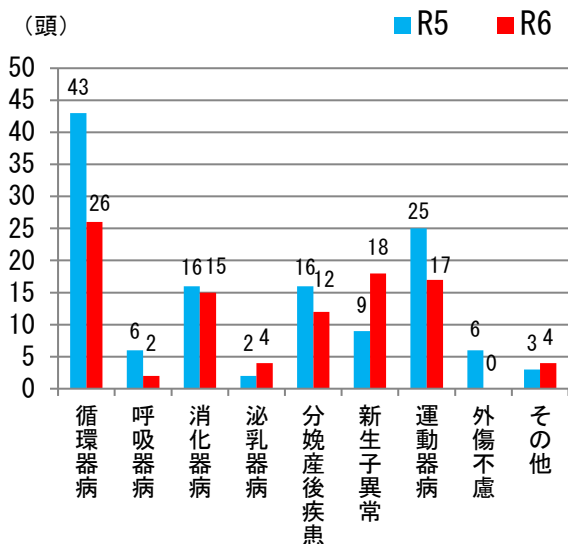
## 令和 6 年 最上管内の病類別死廃事故状況

山形県農業共済組合

令和 6 年 1 月から 12 月までの最上地区における死廃事故の状況は、酪農家等の廃業もあり、前年から全体で 16 頭の減少となっています。しかし、依然として繁殖牛の胎子死等の死亡事故は多い状況となっています。繁殖農家にとって子牛は大切な収入源となります。給餌時間変更による昼間分娩誘起技術、体温変化による分娩予測、分娩監視システムなども活用しながら、立会いを徹底して分娩時の事故を減らしましょう。

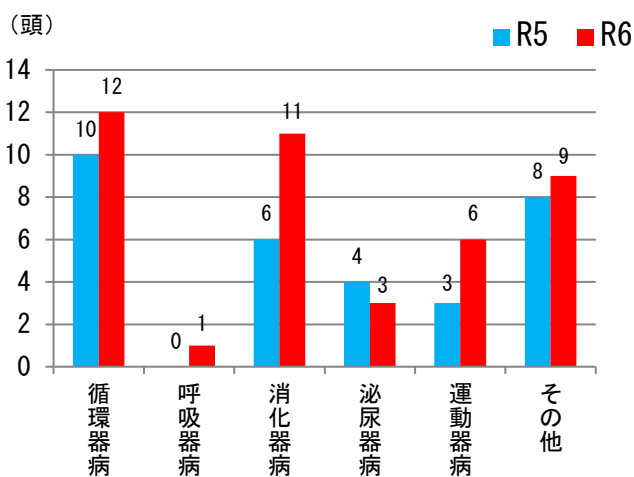
### ○乳用牛

循環器病（心不全）が大きく減少しました。R5 と比較して夏場の高温の影響が小さかったことや、暑熱対策の効果があったものと思われます。



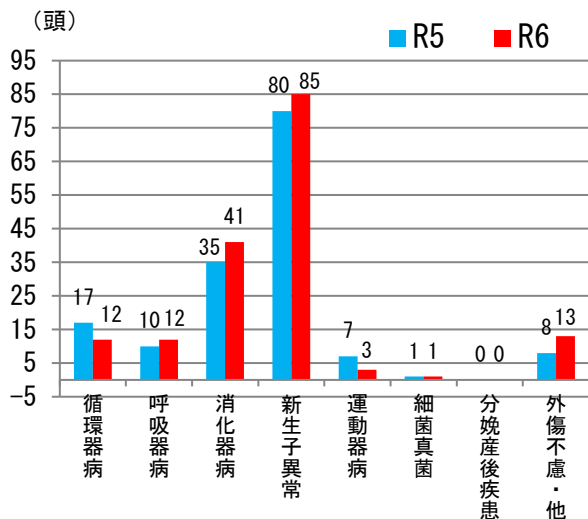
### ○肉用牛

前年に比べ、全体的に増加傾向にあります。ビタミン A の下げ過ぎや第一胃の状態を考慮しない飼養管理は事故の根源となります。注意しましょう。



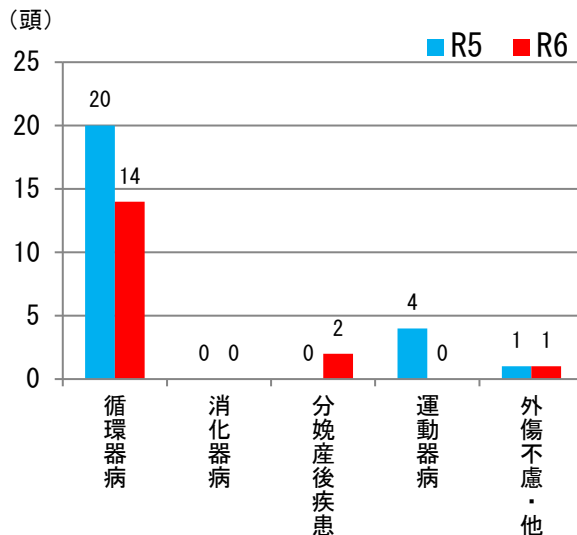
### ○繁殖牛

胎子死などの新生子異常が依然として多くを占めています。分娩時の立会いを徹底し、異常時は早めに往診依頼を行って下さい。



### ○種豚

R5 と比較して循環器病（心不全）が減少しており、暑熱対策の効果があったものと思われます。引き続き対策の徹底をお願いします。





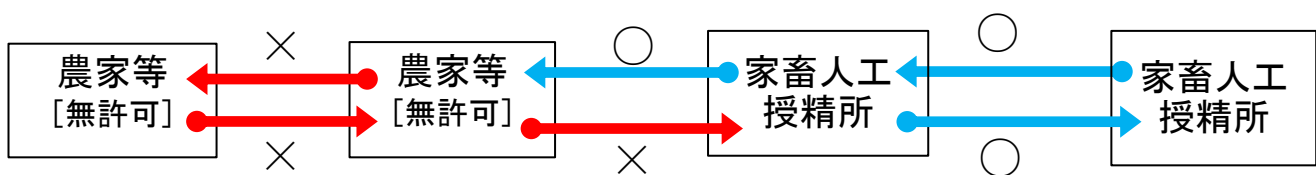
# 家畜改良増殖法（人工授精等業務）の遵守の徹底について

最上総合支庁産業経済部農業振興課

これまで、家畜の精液及び受精卵（以下「精液等」という。）の取扱いに関して、問合せが多く寄せられていることについて、注意点をお知らせしますので、今後とも家畜改良増殖法を遵守して、家畜人工授精や受精卵移植の業務を行ってください。

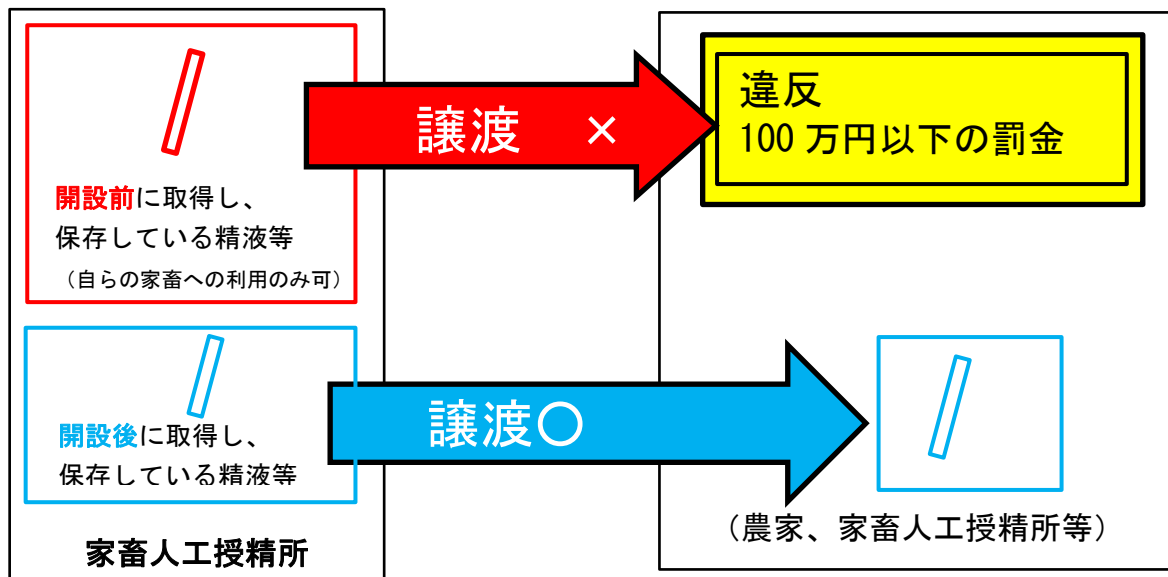
## 1 精液等の譲渡

有償・無償問わず精液等を譲渡できるのは、法に基づき開設された家畜人工授精所のみです。家畜人工授精所として開設されていない場合でも、精液等を保存（自らの家畜への利用目的）することは可能ですが、譲渡することはできません（法第 12 条及び第 14 条第 3 項）



## 2 家畜人工授精所開設前に取得した精液等の譲渡

家畜人工授精所開設前から保存している精液等は、「衛生的に保存されていること」の基準に適合しないため、家畜人工授精所の開設後も他人に譲渡することはできません（法第 14 条第 3 項）。



## 3 ラベル（精液等証明書）の裏面への記載について

精液等の不正流通を防止するため、家畜人工授精用精液証明書、家畜体内受精卵証明書、家畜体外受精卵証明書（以下「精液等証明書」という。）の裏面には、適正な記載が必要です。

### (1) 譲渡・経由の確認の欄

この欄には、譲受や譲渡の際に「所有権の移転」を記載する必要がありますので、取引上、農家や家畜人工授精所が農業協同組合を介して精液等を購入している場合は、当該農業協同組合の記載も必要となります。

### (2) 注入記録、移植記録の欄

家畜人工授精等の業務に関する各書類に不正等がないかを担保し、制度の信頼性を確保する観点から、また、使用済み精液証明書等の悪用を防ぐため、受胎、不受胎に関わらず精液等を注入又は移植したら速やかに記載してください。

# 最上子牛市場について

最上総合支庁産業経済部農業技術普及課

## 《最上子牛市場の取引状況》

令和6年（1～12月）の取引頭数は1,478頭（前年比96%）で、内去勢は833頭、雌は645頭となりました。取引価格（税込）の平均は525千円（前年比94%）で、去勢は545千円、雌は497千円でした。枝肉価格の低迷や飼料・資材価格の高騰等による肥育農家の購買意欲等の低下もあり、12月を除き、前年よりも低く推移しました（図）。

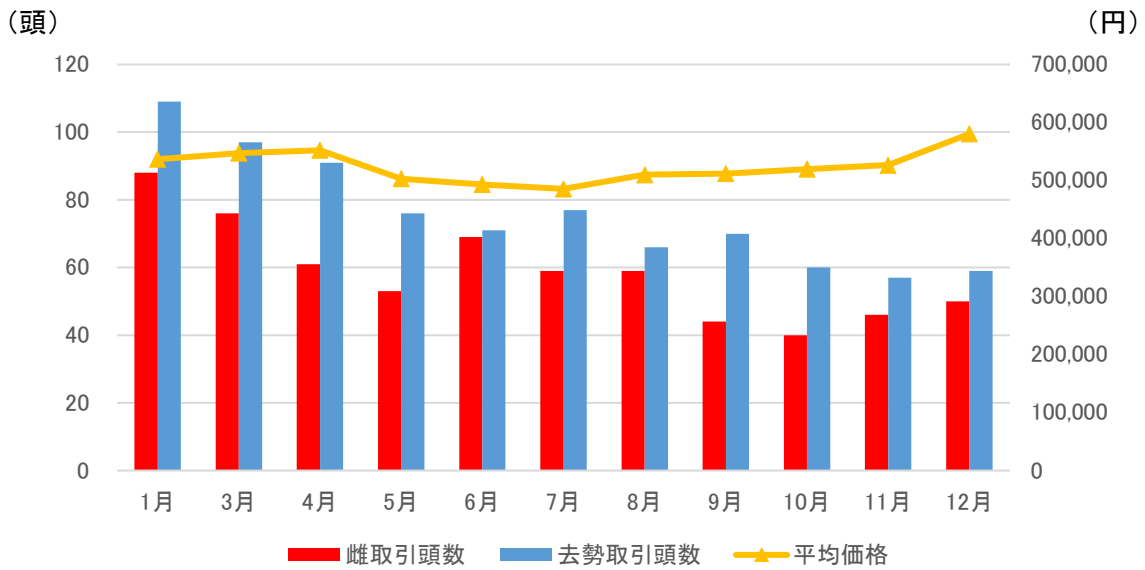


図 最上子牛市場 令和6年の月別取引頭数と平均価格の推移

出典：（公社）山形県畜産協会 HP 最上子牛市場結果

また、近年、最上管内をはじめ県内ではOPU-IVF（生体内卵子吸引技術と体外受精技術の組合せ）等を活用した和牛子牛生産が取り組まれています。少数ではありますが、令和6年は、65頭の受精卵産子が市場で取引され、発育や価格の面では、家畜人工授精により生まれた子牛と遜色ない結果となりました（表）。

表 令和6年最上子牛市場取引実績（家畜人工授精・受精卵移植別）

	頭数	平均価格（円税込）	平均 DG(kg/日)
人工授精	1,413	524,932	1.11
受精卵移植	65	526,240	1.13
全体	1,478	524,990	1.11

注) 最上総合支庁調べ